

5. コロンビアの体質 2

3) アンデス地域

読んで字の如く、国内のアンデス山脈の地域である。アンデス山脈は南米大陸の西側（太平洋側）を、北はベネズエラやコロンビアからチリの南の方まで、約7,500 km貫く大山脈である。コロンビアではベネズエラから南下してエクアドルへと続いているが、三つの山脈に分かれている。東アンデス、中央アンデスそして西アンデスと呼ばれている。この地域の面積は305,000km²の広さがあり、南からナリーニョ県の一部、カウカ県、バージェデルカウカ県、チョコー県、アンティオキア県、コーヒーゾーンのリサルダグ県・カルダス県・キンディオ県の三県、トリマ県、ウイラ県、クンディナマルカ県、ボヤカ県、サンタンダール県、ノルテデサンタンダール県、セサル県、アラウカ県、メタ県、カサナレ県、カケタ県そしてプトゥマヨ県の20県にまたがっている。地域の中で地理的や気候的な多様性のため、アンデス地域は高原や高地、森林地帯と盆地、傾斜地で構成されている。

東アンデスと中央アンデス山脈の間をマグダレーナ川がコロンビア国を貫いている。この川は、古くは独立に関する戦いにも関わっていて、また、産業はもとより、ゲリラ活動の発祥とも関係しており、コロンビアの歴史を語るには欠かせない川である。

アンデス地域がコロンビアで重要な地域である理由は、この地域が経済活動と文化活動がいずれも最も盛んな地域だからである。コロンビアと言えばコーヒー産業だが、その主要栽培地域がある。そして「エメラルド」の鉱物の地域（ボゴタの北東ボヤカ県地方）、後述の「オリノコ地域」と共に、ベネズエラに比較的に近いコロンビアの西北部に位置するバランカベルメハを中心とする地域には石油が産出される。実は、この石油輸送パイプはしばしば（現在も）ゲリラに襲撃されており、石油産業に打撃を与えているのである。

地域の中で最も人口が多い地域である、首都のボゴタ、第二の都市メデジン、第三の都市カリも含む全体の人口は、2018年で34,419,398人であり⁽²⁾、コロンビア全人口の70～75%を占めている⁽³⁾。産業も多様である。人口の構成はほとんどメスティソ（白人と先住民の混血）で、中にはムラート（白人と黒人の混血）も存在する。

4) オリノコ地域（東部平原地域）

ベネズエラとの国境地帯を含み、コロンビアのまた別の「顔」を表現している地域である。別の顔とは、植物や動物、文化や生活様式に多様性が見られる地域ということ（450種の鳥類、260種の淡水魚類）、そして比較的多くの先住民が住んでいることである。

この地方の面積は310,000km²で、7つの県を含んでいる。ピチャダグ県、パウペス県、グアビアーレ県、メタ県、グアイニア県、カサナレ県、そしてアラウカ県である。別名の「東部平原地域」のようにこの地域は山脈がない。文字通り平野部でベネズエラの国境まで隆起は少なく、500 mを越える高さの土地はない。気候はいたって暑く、この地域の約75%が雨季（冬）と乾期（夏）にわかれる熱帯性のサバナ気候である。後

の25%は森林地帯である。

オリノコ地域の産業は、農業、畜産業（主に牛で、肉と牛乳産業が盛ん）、鉱業などである。コーヒーを始め、花、バナナ類、米、タバコ、トウモ

ロコシ、サトウキビ、カカオなどがオリノコ地域の主要農作物である。家畜の種類は主に牛であり、この地域の名物料理は「焼き肉」なのだが、日本のそれとはことなり、いわゆる「南米式」である（写真参照）⁽⁵⁾。

特筆すべきことは石油の産出で、コロンビアは1986年よりは石油の輸出国になっている。1995年に31億バレルの埋蔵量が発見されている。石油パイプが首都のボゴタ、エクアドルの国境のナリーニョ県まで届いている。この他鉱業については、ニッケル、金、銀、プラチナ、そしてエメラルドが産出される。

*体験話

私はこのオリノコ地域を訪れたことがあり、牛と石油について、それぞれが食文化と基幹産業となっていることに驚嘆した。食文化では、朝食から普通に、肉を食するのだ。パンやジュース、果物という「都会」の小じやれた感じではない、朝からがつつり肉食である。テンガロンハットのカウボーイたちが、ステーキ・焼き肉を食べるのだ。コロンビアやメキシコは昼食がメインで量が多いが、朝食から肉とは……。彼らはカンポ（畑や牧草地など野外の意）に出て体力仕事をするからだと聞いた。飲み物もココアにチーズを入れて飲み、できるだけカロリーを摂取する。市内のいたるところに「焼き肉屋」が存在する⁽⁶⁾。

また、石油産業が盛んなオリノコ地域の街は、石油経済の恩恵を受けている。総人口4万人のプエルト・ガイタンという小さな田舎街がある。そこで空手道の全国大会が開催された。全国から選手やスタッフを入れると2,000～3,000人規模の人が集まれるだけの宿泊、体育設備があるのだ。道路は田舎道では考えられない程の質の高いアスファルト舗装で、4車線が主要幹線として完備されている。また、近代的なアリーナ、ホテルなど基幹設備がいずれも新しく、機能的である。これも石油のお陰である。

[参照 URL]

- (1) www.lifeder.com/regiones-naturales-colombia 参照
- (2) [https://es.wikipedia.org/wiki/Regi%C3%B3n_Andina_\(Colombia\)](https://es.wikipedia.org/wiki/Regi%C3%B3n_Andina_(Colombia))
- (3) <https://www.todacolombia.com/geografia-colombia/regiones-naturales-colombia.html> TodaColombia
- (4) <https://www.lifeder.com/economia-region-orinoquia/>
- (5) <https://www.lifeder.com/economia-region-orinoquia/>
- (6) <https://www.lifeder.com/economia-region-orinoquia/>



写真 オリノコ流域の焼き肉屋の様子